

2026年度 アートによる地域振興助成（スタートアップ）

**A I R S**

アーティスト・イン・レジデンス・スズ

---

一般社団法人仮っこ

新谷 健太・楓大海

# 団体概要・ミッション

## Concept

「仮に（ ）で括ってみる」

土地に根付く歴史文化背景を紐解き、様々なモノ・コト・ヒトが交錯する環境（場所と状況）を仮に（ ）で括ることで、関係性と価値観の変容を促すプロジェクトを創出。「主体 / 客体が入り混じった場 / 況をケアする身体性としてのメディウム」をテーマに活動。そんな仮に（ ）で括られた環境に世界の複数性を見出し、社会に応答し続ける。

## Mission

「持続可能な文化創造のプラットフォームを築く」

被災した物件を新たな拠点として再生し、アーティストやサイエンティストを招聘。地域資源の再発見と創造的活用を促進し、珠洲市の文化的活性化に寄与します。

団体名：一般社団法人仮っこ

活動拠点：石川県珠洲市（能登半島最北端）



# 活動エリア：石川県珠洲市の現状

## 🌿地域の魅力

- ・ **里山里海の文化**：外浦の岩礁、内浦の砂浜など多様な自然環境。
- ・ **伝統の継承**：塩作り、珪藻土産業、キリコ祭りなどの祭礼文化。
- ・ **歴史的背景**：北前船の寄港地としての交流の歴史。

## ⚠️直面する課題

- ・ **深刻な人口減少**：「消滅可能性都市」としての危機。
- ・ **能登半島地震の影響**：多くの家屋や活動拠点の喪失。
- ・ **文化継承の危機**：担い手不足による伝統の断絶。

# 能登半島地震による被害状況

## 活動拠点予定物件の深刻な損傷

### 内壁の剥落：

建物の複数箇所で壁が剥がれ落ち、構造が露出している状態。

### 天井・屋根の破損：

天井板の落下や屋根瓦のズレ・破損により、雨漏り等の二次被害も懸念される。

### 活動場所の不足：

市内全域で家屋解体が進み、文化活動を行える場所が圧倒的に不足している。

→ 拠点の再生が、活動開始の必須条件です。



# 事業概要：AIRスズ

被災物件を「創造の拠点」へ

能登半島地震で被災した物件を修繕・整備し、新たなアーティスト・イン・レジデンス（AIR）を開始します。

主な活動：

- ・ 多分野（アート・科学など）の専門家招聘
- ・ 地域資源の深層リサーチとアーカイブ
- ・ 住民協働ワークショップと公開制作



# 本事業のアピールポイント



## 「記録」から「再構築」へ

従来の資料保存に留まらず、映像やインスタレーション等の表現を通じて、地域の記憶を感覚的に体験できる「生きたアーカイブ」を構築します。



## Art × Science

アーティストだけでなく、サイエンティストなど多分野の専門家を招聘。異なる視点の交差により、地域資源の新たな価値を発見します。



## 9年間の信頼関係

移住から9年。蓄積された地域住民との深い信頼関係を基盤に、一過性でない、生活に根ざした協働を実現します。

# 2026年度 実行スケジュール

4月 - 6月

拠点整備・修繕

被災箇所の修復  
受入環境の整備



7月 - 9月

AIR開始・前期

1-2組目招聘  
中間アーカイブ公開



10月 - 12月

AIR後期・展開

3組目招聘  
ワークショップ実施



1月 - 3月

成果発表・総括

4組目招聘  
最終成果Web公開



# 実施体制とパートナーシップ

## 運営主体：一般社団法人仮かっこ

全体統括、レジデンス運営、拠点改修管理

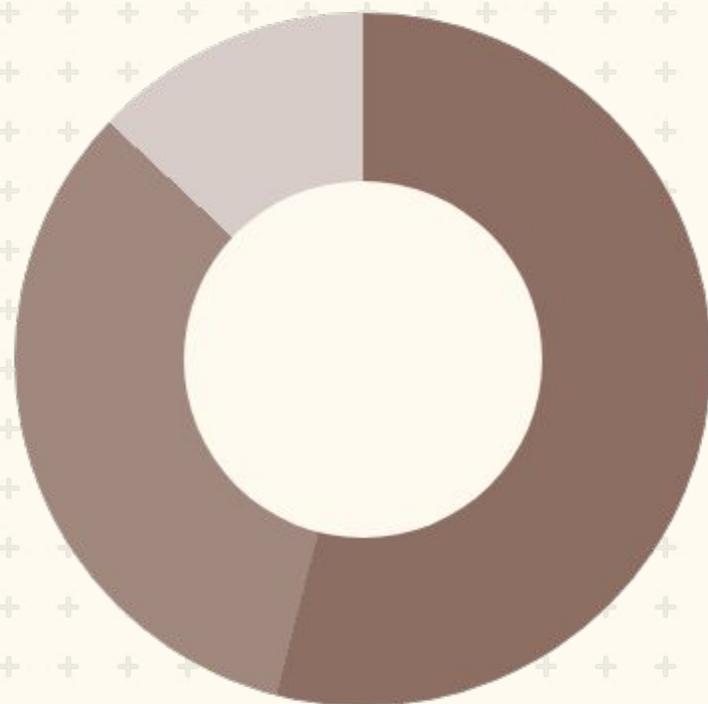
## 連携パートナー

- ✓ NPO法人ガクソー：  
教育普及、子ども向けワークショップの共同開催



# 収支計画(総額 600万円)

福武財団：300万円 / 小笠原敏晶記念財団：300万円(採択決定済)



■ 施設整備・修繕 (54%) 拠点再生、会場費等

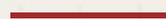
■ 人件費・謝金 (33%) 招聘費、運営委託費

■ 事業費・旅費 (13%) 交通費、広報、消耗品

※被災拠点の再生に重点投資し、持続可能な活動基盤を作ります。

# 将来ビジョン

地域に定着した「文化の実験場」へ。



自然・文化・人の営みが循環する  
持続可能なエコシステムを珠洲に構築します。

地域住民が自らの生活文化を再認識し、  
誇りを持って次世代へ継承していく未来を目指して。